

JGA 全国通訳案内士研修テキスト【3】関西(広島・中部)

エリア別案内マニュアル 改訂 2022 年 12 月

目 次

1. 実習にあたって	1
2. 大阪	4
3. 京都	11
4. 奈良	38
5. 姫路城	49
6. 広島・宮島	51
7. 中部（金沢・高山・名古屋・伊勢、および周辺エリア）	64

この冊子は、一般社団法人日本観光通訳協会（JGA）の全国通訳案内士新人研修会をはじめとする研修のテキストとして使用しています。

本テキストは 2022 年 11 月現在のデータ・事情に基づいて編集しています。施設の環境や各種サービス、規則等の運用ルール、その他の諸事情は、刻々と変わっていきます。常に下見や確認をし、最新の情報を得るよう心がけてください。なお、本テキストに記載した施設・サービスの中には、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行による観光客の激減や国際航空便の減便の影響、また、感染拡大防止措置の観点から、一時的に休業・閉鎖したり、サービスを縮小・変更・休止したりしているものがありますが、インバウンド回復後に備えるため、休止前の状況を記載している箇所もあります。インバウンドを含む観光の回復にあわせて再開していくものと期待されますが、利用する前に必ずその時点での状況を確認してください。なお、本文中では関連する状況・事情を「コロナ禍」と短縮して表記しています。

コース：森ノ宮駅～ジョー・テラス・オオサカインフォメーション前駅～駐車場前駅：車椅子の方専用)～極楽橋駅～豊國神社前駅
極楽寺橋～豊國神社前駅間は、エレクトリックカーで代替運行
エレクトリックカー：09:30～17:30 馬場町→大手町→桜門→豊國神社前→城南バス駐車前→馬場町 南外堀を時計回りに一周(約36分)。桜シーズンはコースを変更する場合がある。大人300円、小人・65歳以上200円。
*両方に乗れる一日フリークーポン大人1,000円、小人・65歳以上600円。

大阪城天守閣 ☎06-6941-3044

鉄筋コンクリート5層8階建てで、歴史資料を展示。6階は実際にはフロアとしては存在せず、回廊のみ。

開館時間：09:00～17:00（入館は30分前まで。桜の季節、ゴールデンウィーク、夏休み、特別展の会期中などは延長することがある）

休館日：12月28日～1月1日

入館料：600円 団体15名以上540円、100名以上510円、200名以上480円

Webチケットも有り（アソビュー！）

駐車料金：バス 城南第1・第2駐車場1時間1,500円、トイレ・喫煙所有り（トイレの横）
ハイヤー 大阪城公園南駐車場1時間350円、トイレ有り。

動線：降車場所～天守閣～乗車場所：

- ・バス駐車場（城南駐車場）：天守閣までは濠沿いに徒歩約20分。説明しながらいくと30分程かかる。天守閣見学後に各自で戻ってもらう場合、道に迷うお客様もあるので、道々、確認が必要。時期によっては駐車場が満車となり、入場待ちのバスが数珠つなぎとなることがある。
- ・大手門降車場：ハイヤーの場合、大手門（土橋、府庁前）近くで乗降ができる。大型バスの場合も、降車のみならできる（状況による）ので、大手門から入城し、天守閣見学後、バス駐車場に通りぬけるコースを取ることもできる。この場合、お客様はバス駐車場の位置がわからぬいため、天守閣から駐車場まで一緒に動く必要がある。大手門から天守閣の方がやや距離が短いが、帰りは来た道を戻らず、バス駐車場まで公園内を通り抜け移動。桜門橋を下りた後、左へ向かうので、はぐれないよう要注意。また、駐車場が広い上に手前の第1と奥の第2に分かれているので、バスの駐車位置をドライバーに確認しておくとスムーズに誘導できる。
- ・バス駐車場と大手門のいずれからでも、天守閣には桜門から向かうことになる。蛸石など巨石の説明。時間に余裕があれば、桜門近くの豊國神社を案内してもよい。目立たないが拝殿の横に1972年に重森三玲が作庭した秀石庭がある。

天守閣見学要領：

- ・天守閣は歴史博物館であり、大阪城の歴史と構造、豊臣秀吉、大阪冬の陣・夏の陣などについて展示・解説されている。英語表記あり。
- ・入場口から天守閣入口までは石段。天守閣内部は8階まであるが、館内エレベーターは上り専用で5階まで。5階で降り、高さ50mの8階展望台まで階段を上り、各階の展示を見ながら1階まで階段で歩いて降りることになっている。階段は上り用・下り用に分かれている。下りは原則、階段のみだが、足の不自由な人は下りもエレベーターを利用できる。
- ・足が不自由な場合、入場券売り場の係員に言うと、係員の誘導のもと、外部に取り付けられ

【二条城】 ☎075-841-0096

1603 年徳川家康建築、1626 年家光により改築、拡張。現存する唯一の徳川將軍御殿を有する。第 15 代將軍徳川慶喜が、1866 年二の丸御殿で將軍宣下を受け、翌 1867 年大政奉還を発表。二の丸御殿は武家の書院造り建築であり、狩野派絵師による 1,000 枚を超える障壁画で装飾される。(現在は障壁画の多くは復元模写画に替わっており、オリジナルの障壁画は収蔵庫内で保管され一部は順次入れ替えて公開。)

案内要領（団体）：

- ・見学所要時間は混み具合・説明内容によるが、二の丸御殿で通常 30~40 分必要。二条城全体で最低 1 時間、余裕をもつと全体で 1 時間半程度。2019 年 4 月より、二の丸御殿に入るには、「入城料」に加え「二の丸御殿観覧料」が必要となった。入城料のみのチケット（建物外観と庭園）と、入城料+二の丸御殿観覧料のチケットと 2 種あるので注意する。

入城：

- ・入退場は東大手門 1 カ所のみ。
- ・チケット売り場は、東大手門に向かって右側。QR コードが入り、入口で提示する。団体の場合、お客様にはチケット売り場横の入口前（団体と個人とで入口が分かれている）で待ってもらう。団体券の場合、係員に提示し、人数を確認しながら入る。全員が入城するまでガイドは先に進まず立ち会うよう求められる。個人券の場合は各自で提示。個人券・団体券とも、二の丸御殿に入る場合は再度チケットの QR コードの確認があるため、紛失しないよう注意。
- ・団体料金（30 名以上）適用以下の人数の団体でも、ある程度の人数がいると、二の丸御殿は団体入口から入るよう、入城の際に指示される。（団体料金適用以下の人数でも、窓口で買う場合、団体で 1 枚のチケットとして発券可能。二の丸御殿に個々に入場したい場合は、時間はかかるが、1 人 1 枚ずつの発券もできる。）
- ・見どころは、二の丸御殿と二の丸庭園。後でフリータイムを取る場合には、案内図などを使って、配置図と戻り道を確認しておく（東大手門より入って少し先に案内絵図がある）。出口は東大手門のみであることを強調。（二の丸の先、本丸まで行ってしまった場合、戻るのに時間がかかる。）
- ・東大手門を入ってすぐのところにパンフレット置き場がある。日・英・中（簡・繁）・韓・西・仏の 7 か国語。
- ・東大手門を入って左方向に進み、唐門をくぐると二の丸御殿が現れる。二の丸御殿を先に見学、二の丸庭園はフリータイム中に各自で見学とする場合には、ここで庭園への入口を示しておく。
- ・時間の非常に限られた団体の場合、入城後、右方向に進み、堀に開けられた小さな入口を通り二の丸御殿の団体入口となる（唐門を通らずに二の丸御殿に直行）。

二の丸御殿：

- ・個人入口は唐門をくぐって正面。団体はその右手に回る。近づくと、係員に下足箱の番号を指示される。傘は同じ番号の傘立てに入れる。段差が低いため、靴のまま上がらないよう注意。長い傘は持ち込み不可、折り畳み傘は御殿入口で配布されるビニール袋に入れて持ち込める。国宝の建物保護のため、案内用の旗類も棒の長いものは使用できない。杖は使用できるが、入場の際係員が杖の先を雑巾でぬぐう。
- ・御殿内は撮影禁止、飲食禁止。ところどころ戸口が低いので頭をぶつけないよう気をつける。
- ・御殿内は順路に沿った一方通行。室内には入らず、廊下から覗きこむ。混むことも多く、後ろの見学者に押される形で先に進まざるを得ないことも。団体が重なる場合など、同じ場所

7. 中部（金沢・高山・名古屋・伊勢、および周辺エリア）

東京・富士山・京都だけでなく、日本らしさや個性のあるデスティネーションを求めて訪日客が増えているエリア。自然、山岳、地方色、郷土料理、温泉、伝統文化、小さな町や小都市の良さなど、魅力は多岐にわたる。東海から北陸へと日本中部を縦断する昇龍道（ドラゴンルート）や、ミシュラン・グリーンガイドの3つ星をもつ金沢、松本、高山、白川村、南砺市（五箇山）を結んだ「3つ星街道」（後にヨーロッパの旅行会社がサムライルートと命名）など、広域で連携した観光周遊ルートのプロモーションも行われている。中部アニメツーリズム、忍者ツーリズムなど切り口も多様。

立山黒部アルペンルートにはコロナ禍前の2018年、過去最高の26万人（台湾から13万8千人）の訪日客が訪れた。2019年には24万人。「雪の大谷」も海外に広く紹介され、人気の行き先となっている。ミシュラングリーンガイドジャポン第6版（2020年7月発行）では、掲載された日本の観光地157箇所のうち、最高の★★★がついたわずか2箇所が『立山黒部アルペンルート』と『雪の大谷、室堂エリア』であった（★30箇所、★★80箇所）。

【金沢】

東京とは2015年に開業した北陸新幹線で2時間半～3時間、京都・大阪とは特急「サンダーバード」、名古屋とは特急「しらさぎ」でつながる。インバウンドのツアーでは、東京～金沢～京都を組み合わせた日程や、金沢を起点または着点として中部を縦断する日程などが多く作られている。

人口約46万人。戦災や大きな災害を免れたことから、加賀藩前田家の城下町の歴史的な町並みや建物が多く残っている。高層ビルがまだ少なく、市中心部にも民家や昔ながらの商店、工房が多く見られるのも魅力。一方で北陸新幹線開業に伴い、駅周辺や武蔵ヶ辻～香林坊間のオフィス街では再開発やホテルの建設も多く進んでいる。

金箔、九谷焼、加賀友禅、漆器をはじめ、多くの伝統工芸で知られ、その保存や紹介にも熱心。工芸や芸能を保護した加賀藩のもとで能楽、茶道なども裾野をひろげ、今でも茶や能を嗜む人の数が多いと言われる。2004年には金沢21世紀美術館が誕生し、伝統と現代美術の両面でアートの町ともなっている。注目を集める建築も多い。2019年には谷口吉郎・吉生記念金沢建築館がオープンし、2020年10月には東京国立近代美術館工芸館が国立工芸館として金沢に移転オープンした。

日本海に面するが、市中心部からは海は見えない（高層階からは遠望できる）。雪国であり、雪の重みから枝を守る「雪吊り」や、凍結した水分で土壌が割れるのを防ぐために筵（むしろ）で覆う「こも掛け」などの冬支度は風物詩となっている。市内の通りには消雪パイプが設置されている。

金沢駅の改札は在来線、新幹線とも東西を結ぶコンコースに面している。団体バス乗降場は西口。東口（兼六園口）の鼓門ともてなしドームは、名所ともなっている。駅には金沢百番街、駅東口には金沢フォーラスのショッピングモールがある。2020年には駅西口にホテル、レストランを含む複合施設クロスゲート金沢がオープンした。

中心部に見どころがまとまっており、5～15分程度のバス移動で次の目的地に着く。駐車場・乗降場も比較的近くに整備されているが、一部の駐車場は台数が少なく、観光シーズンやクルーズ船寄港時には満車となることもある。6月の百万石まつりの他、季節ごとのイベントも多い。

金沢城公園 ☎076-234-3800 石川県金沢城・兼六園管理事務所

1583年の前田利家入城以来、14代にわたる前田家の居城跡。建物は度重なる火災で消失・再建